



ん…♡

だって湯船に
使ってる間ずっと

すごいのが
当たってた
じゃない

そ…
それは…っ

せ…先輩!?

挿入りたい…
でしょ?

で…でも
また汗流さないと
いけない…し



もう…
察してよ…っ

お昼あんなこと
言われて…
いまお尻に
押し付けられて

私が…
したい…の!!

せ…
先輩…!!



ああッ♡

う…っ
そ…そういうば
あんなことって？

ふふ…
内緒♡

計算…
感じないから
いいのよね…♡

アッッッ

ほら…
余計なこと
考えてないで

いっぱい
突いて？

先輩に
こんなねだって
もらえるなんて…
嬉しいです…っ



んあ...♡
すご...いい♡

あああ...♡

私...本来
結構単純なの...よっ

あ...それ
頭しびれ—ッ♡

1/0

1/0

1/0

1/0

やっ

先輩...!

先輩...!!

1/0

1/0

1/0

やっ



ああ……
だ……め……え♡

ごめんなさ——
先にイカせ……て……ッ♡

あ……あ……
あ……あ……あ……♡♡

あ……
あ……
あ……

あ……
あ……
あ……

あ……
あ……
あ……

あ……
あ……
あ……



イ——
ッあめ——
♡♡♡

お
お
お

お
お
お

お
お
お



あ…ああ…っ♡

せ…
先輩…っ

んん…っ♡

お…

は…

んん…

んん…

だ…射精す…まで
続けていい…けど…

少しは…
手加減
…してよう？

は…
はい…！

ガッ

ガッ

んん…

あ
あ
あ……ッ♡♡

だ……め……っ
これ……奥……激しく……っ
された……らああ……ッ♡

先輩のこの声……
すご……エロくて
興奮します……っ

こんな弱いトコ
全部……知られて……っ

キミの……っ
おちんちんでしか……
もう……満足……
できな……♡♡



先輩…!

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

先輩…!!

ああ…ッ
だめ—
またイク…♡

俺も…
先輩!!!



先輩…!

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

先輩…!!

ああ…ッ
だめ—
またイク…♡

俺も…
先輩!!!





あ...あ...♡

く...あ

熱いの...
出て...る...っ♡♡

びゅ...
びゅ...
びゅ...

びゅ...
びゅ...
びゅ...

う...
先輩...っ

びゅ...
びゅ...

あ♡

あ...♡

ん♡

もう…
手加減してって
言ったのに…♡

すみません
止まりませんでした…っ

ダメね…
もうセックスは
キミにされるが
まだまだわ…♡

は♡

は♡
は♡
は♡

し…仕事の方も
もっと頑張ります…っ

ふふ…
じゃあ私も…

もう少しだけ
料理…
頑張ってみようかな♡